

環境

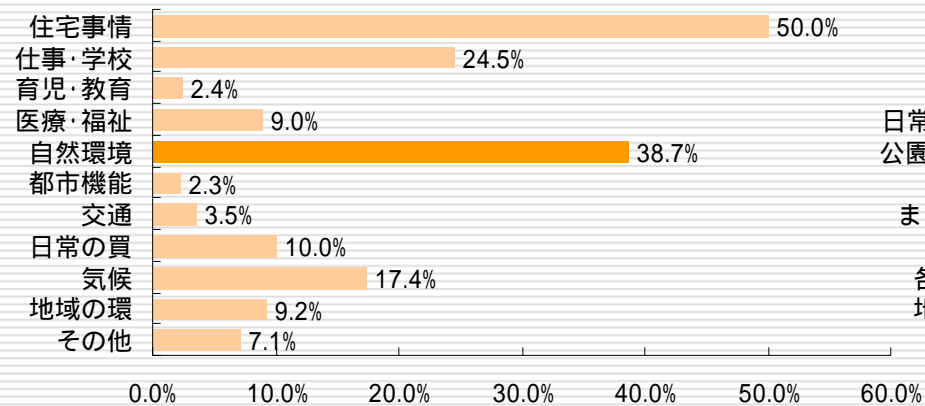
豊かな自然を享受できる地域づくり

地域への愛着と住み続けたい理由

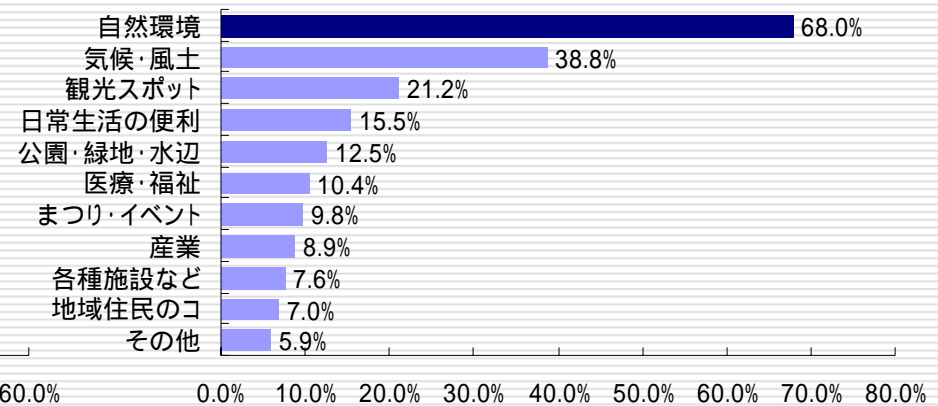
釧路市が実施した調査によると、これからも住み続けたい(「ずっと」+「できれば」と考える市民は82.4%で、その理由としては「自然環境」が38.7%と、「住宅事情」に次いで高い。また、自慢できるところでは、「自然環境」が68.0%で他を抜きんでた結果となっている。

これらから、自然環境がこの地域の大きな魅力であることが裏付けられることから、今後もこうした魅力を損なうことなく活かし、将来的にもこのような調査で都度チェックしていくことなども考えられる。

【釧路市に住み続けたい理由・複数回答】



【釧路市の自慢できるところ(上位のみ)・複数回答】

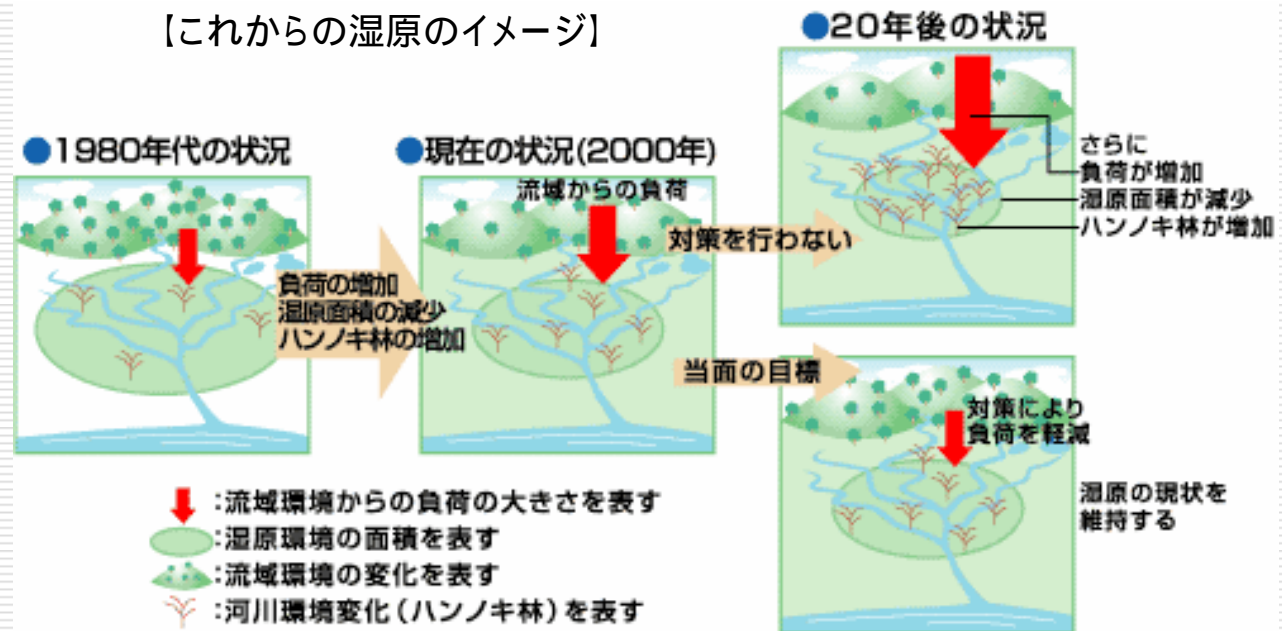


環境

釧路湿原自然再生協議会(事例)

釧路湿原はわが国最初のラムサール条約登録湿地であり、タンチョウやキタサンショウウオをはじめとする多様な野生生物の貴重なすみかとなっているが、近年、流域の経済活動の拡大に伴い湿原面積が著しく減少し、湿原植生もヨシ-スゲ群落からハンノキ林に急激に変化している。

このため、関係省庁や自治体、地元NPOなどで構成する「釧路湿原自然再生協議会」が設立され、湿原を次の世代へ継承するため、さまざまな取り組みが進められている。

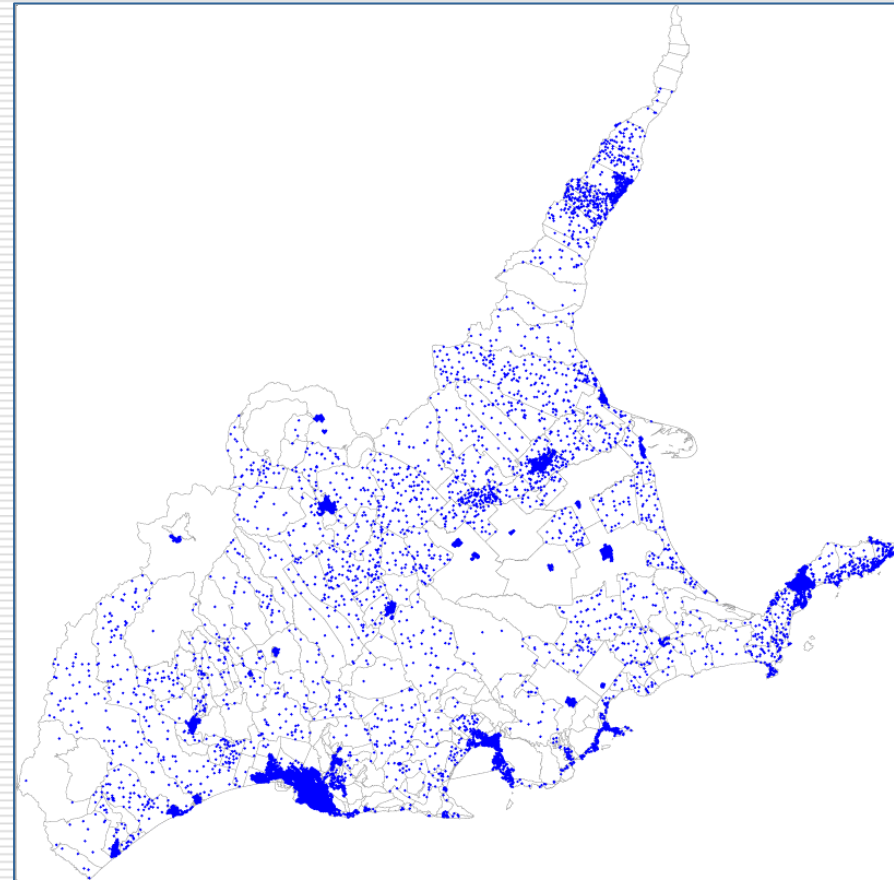


職住

30分通勤・通学圏の状況

地域の30分通勤通学圏（青点が30分圏内、赤点が30分圏外）をみると、全就業・通学者数23.5万人のうち、およそ8割の18万人で30分圏内を実現している。

このことは、比較的職住近接が図られているためと考えられているが、30分圏外（赤点）をみると各地域に点在しており、その解消に向けては総合的な交通アクセス整備が求められる。

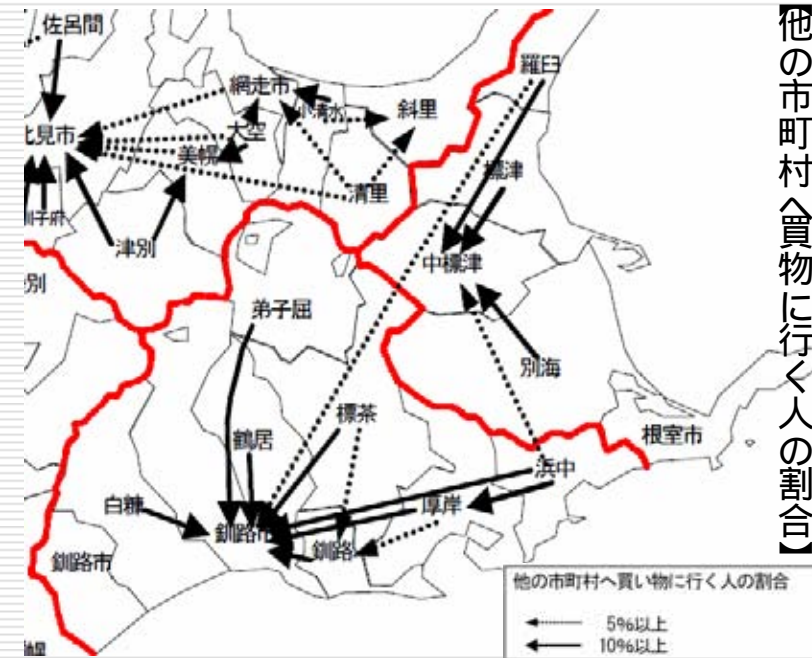
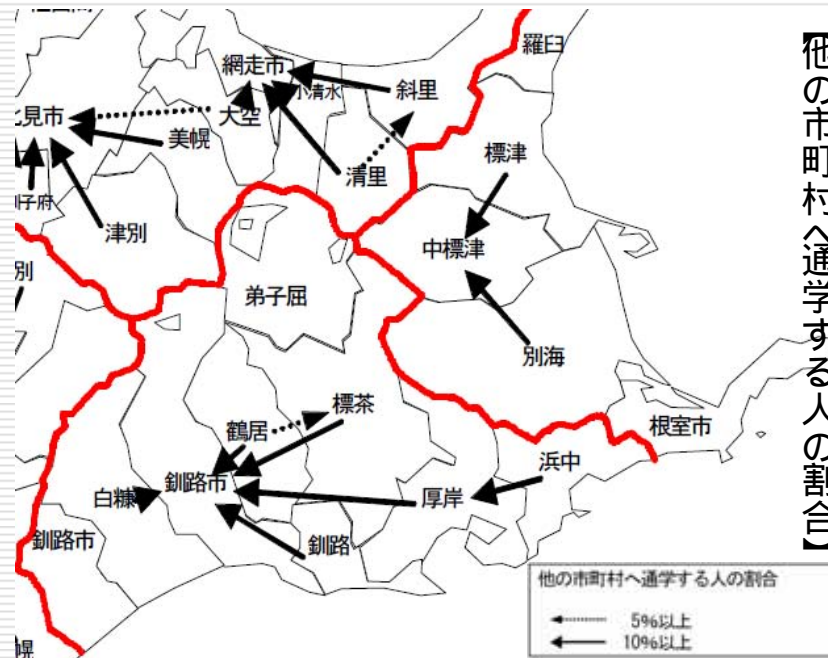


職住

通学・購買圏の状況

30分通勤・通学圏と同様に通学、購買の動向をみると、通学では当該市町村以外では近接する釧路市や中標津町への通学が中心となっており、比較的遠方としては標茶町、厚岸町から釧路市へといった流れが挙げられる。

購買では、釧路市及び釧路町、中標津町への集中がさらに顕著となり、通学に比べてアクセス時間が増大している。



医療

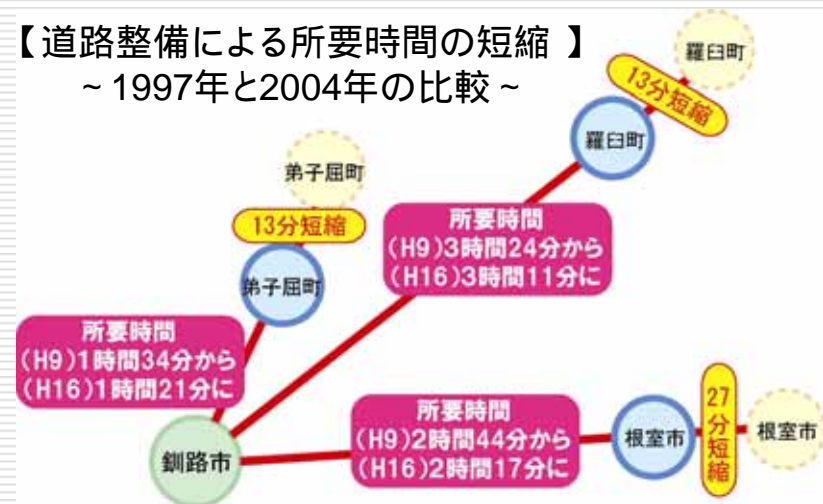
望まれる医療機関アクセスの定時性確保

釧路市には管内の病院・医師の半数以上が集中しており、年間2,000件以上の救急搬送や30万人以上の通院患者がいる。分散する居住地や今後の高齢化などを踏まえ、所要時間の定時性確保がより一層必要と望まれる。

【釧路市への救急搬送数】



【道路整備による所要時間の短縮】
～1997年と2004年の比較～

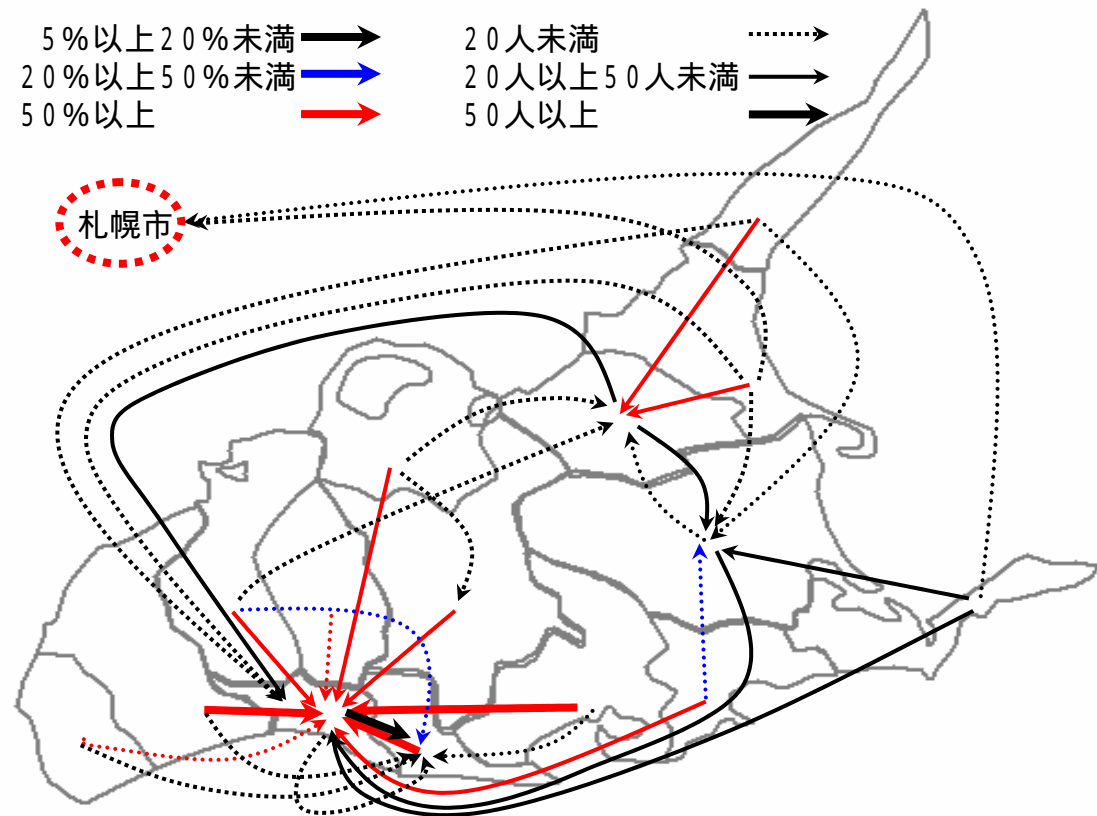


【釧路市への医療集積】

	病院	病床数	医師
釧路管内	34	5,856	489
釧路市 (管内CU)	18 (53%)	3,950 (67%)	364 (74%)

地域における出産の状況

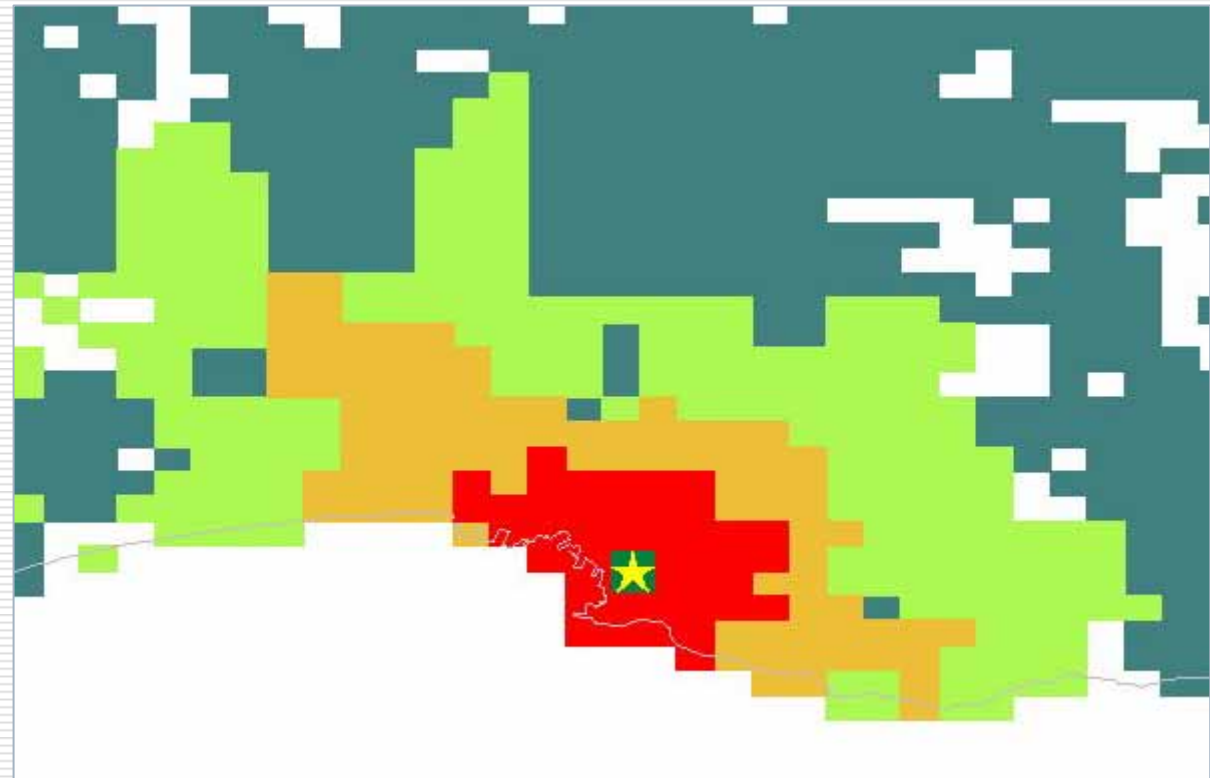
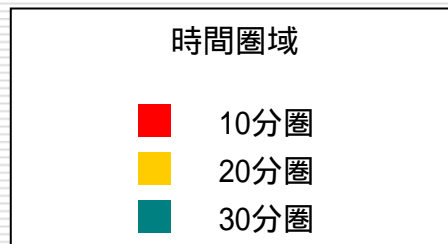
地域で分娩が可能な医療機関は、7病院、2助産院の9カ所しかなく、釧路管内は釧路市に集中している。根室管内は、中標津町もしくは別海町でなければ、釧路市や札幌市などで出産せざるを得ない状況にある。



医療

釧路市の救急医療圏域

救命救急に必要となる病院を起点とした30分圏域(概ね救命率が50%を超える医療措置までの時間:以下同じ)をみると、釧路市では人口ベースで11万人(釧路・根室圏の30.4%)がカバーされている。



注) 移動時間は「NITAS」の「平均旅行時間」による。

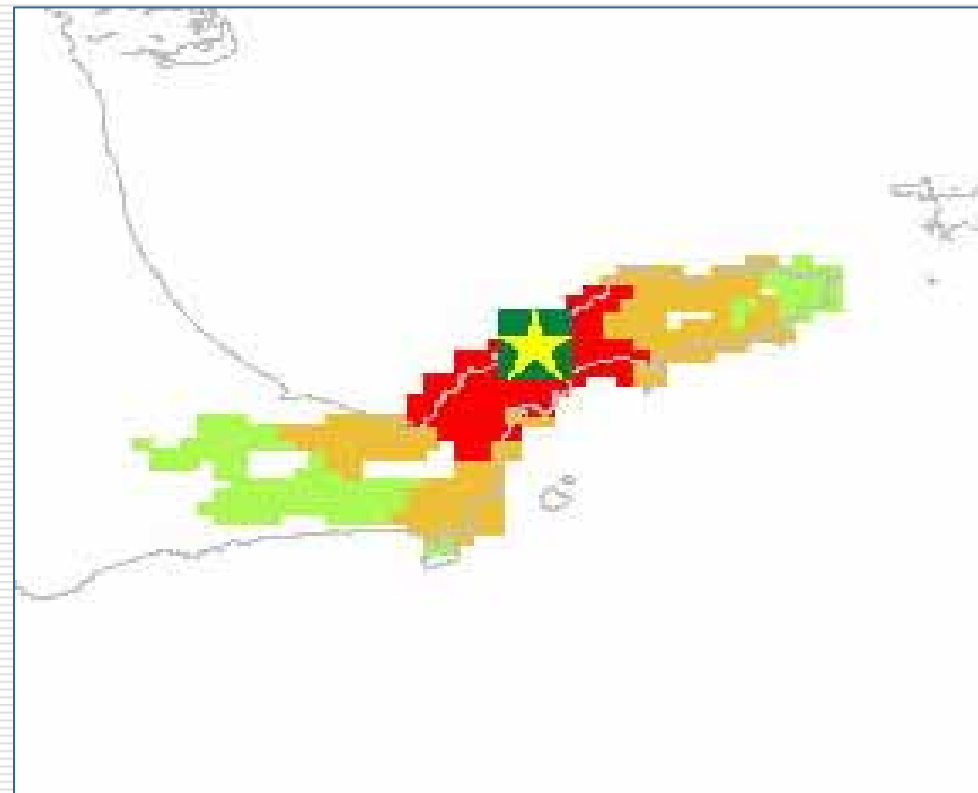
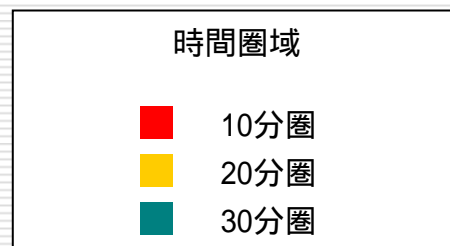
地域や高速、国道、道道などの種別により異なるが、道内国道は概ね平均時速42km程度。

総合交通分析システム(NITAS)により未来総研作成

医療

根室市の救急医療圏域

救命救急に必要なとなる
病院を起点とした30分
圏域をみると、根室市で
は人口ベースで3万人
(釧路・根室圏の8.2%)
がカバーされている。



注) 移動時間は「NITAS」の「平均旅行時間」による。

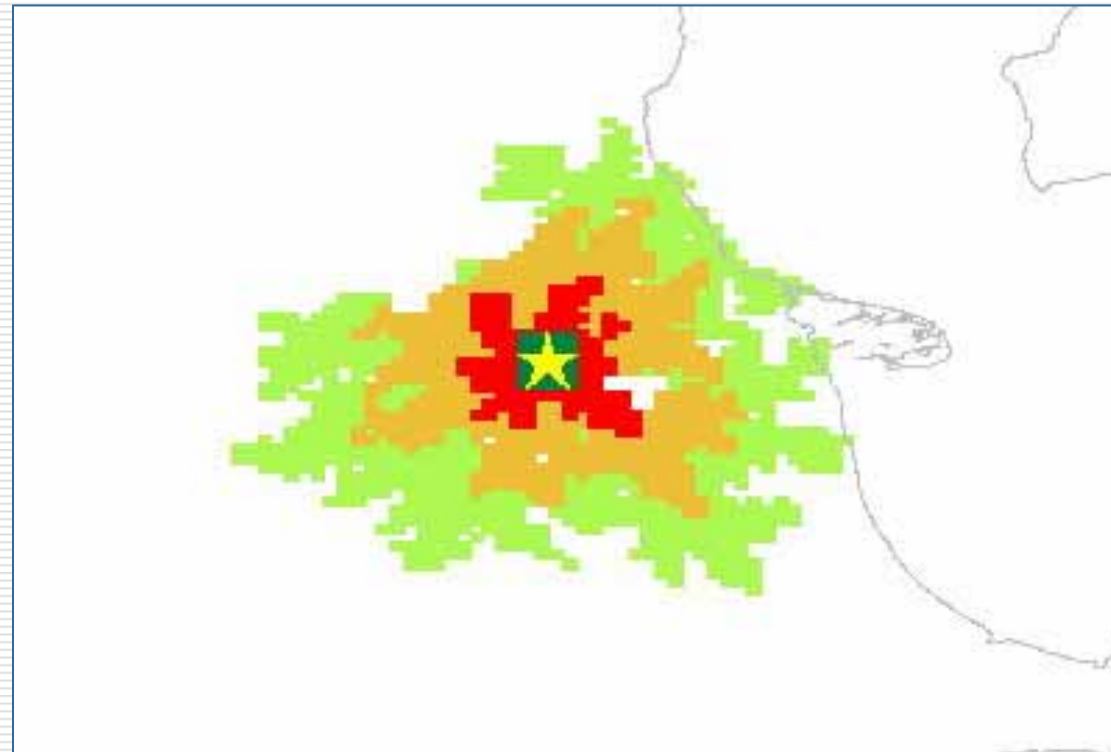
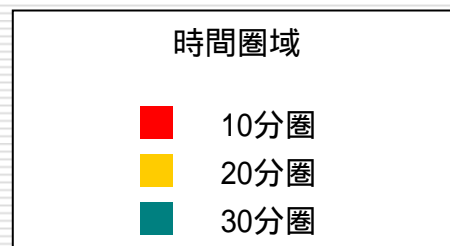
地域や高速、国道、道道などの種別により異なるが、道内国道は概ね平均時速42km程度。

総合交通分析システム(NITAS)により未来総研作成

医療

中標津町の救急医療圏域

救命救急に必要な
病院を起点とした30分
圏域をみると、中標津町で
は人口ベースで4万人
(釧路・根室圏の11.0%)
がカバーされている。



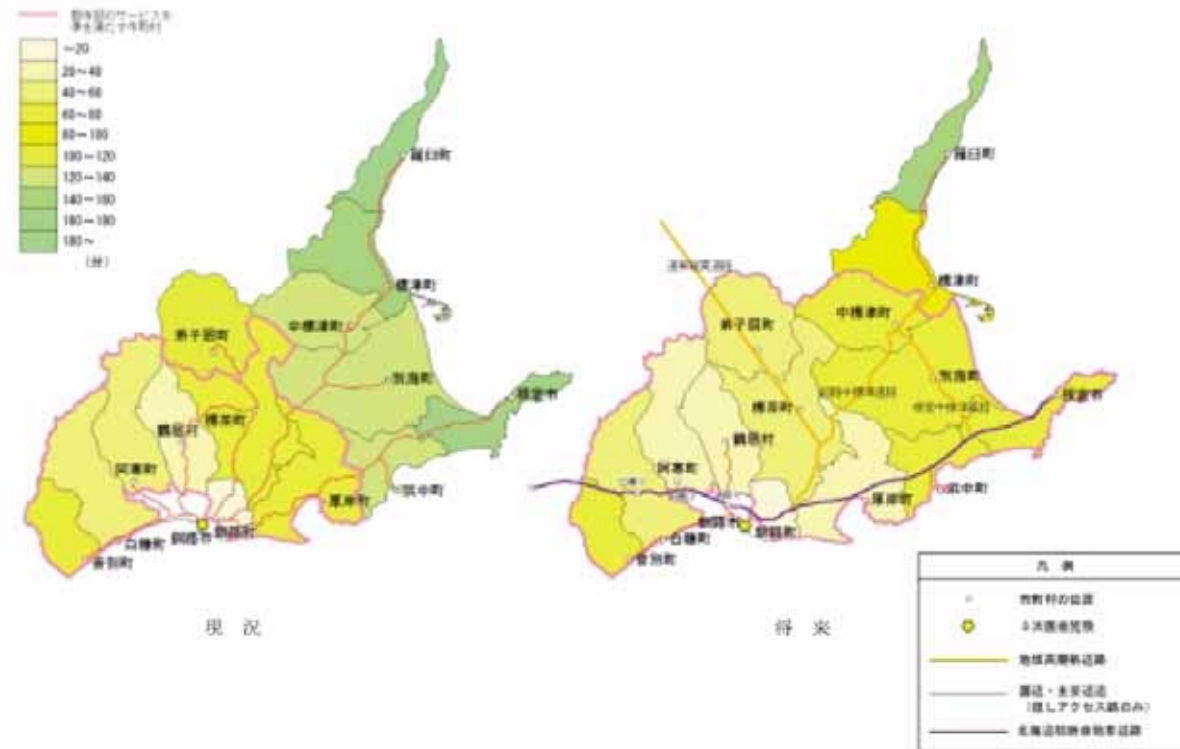
注) 移動時間は「NITAS」の「平均旅行時間」による。

地域や高速、国道、道道などの種別により異なるが、道内国道は概ね平均時速42km程度。

総合交通分析システム(NITAS)により未来総研作成

広域分散型地域としての救急医療体制

高度医療が可能な第3次医療施設のある釧路市までの搬送時間に関して、サービス水準（79分：全道34市から三次医療施設を有する4市を除く29市の平均所用時間）を上回るのは管内6市町村となり、カバー人口率は39.7%（釧路市を除く）である。候補路線を含む全ての高規格幹線道路等が整備されればカバー率は92.3%まで向上すると想定されているが、それでも道路整備だけでは7市町がサービス水準を確保できないことが予想されている。



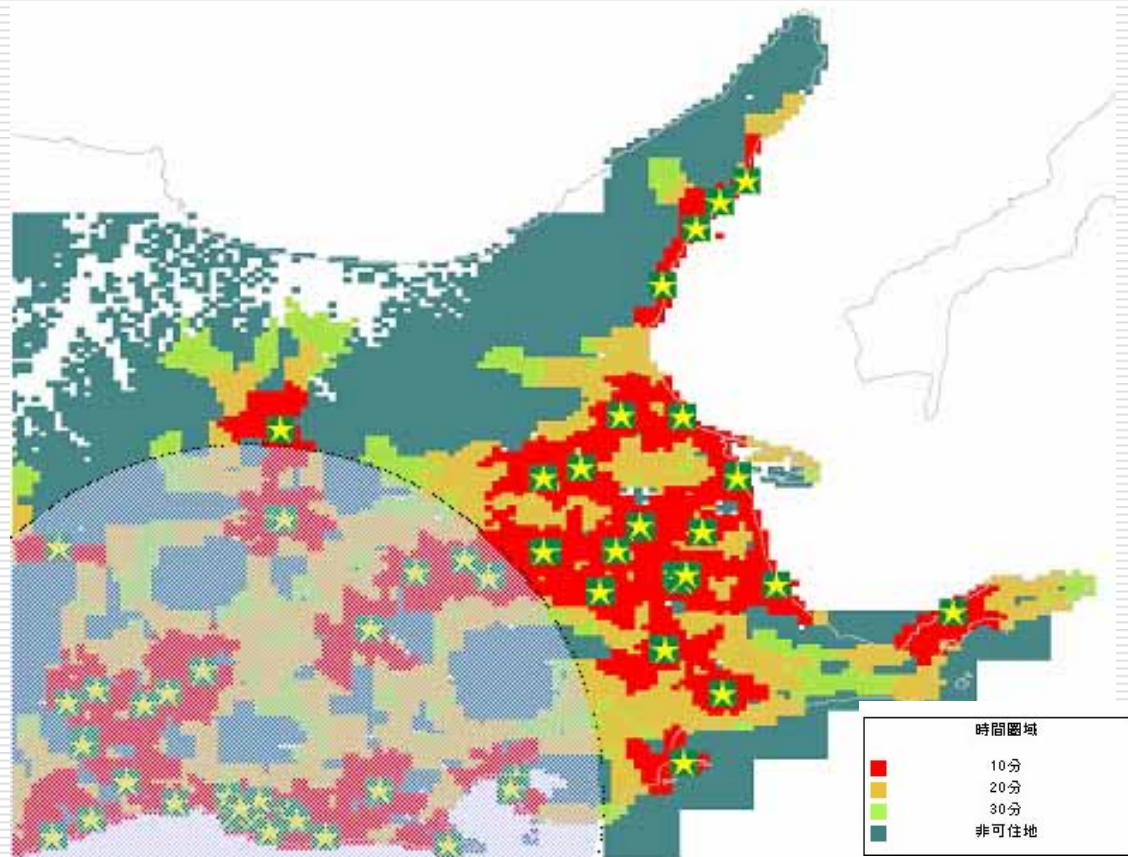
救急医療活動からみた道路整備効果の評価に関する一考察
（北海道開発土木研究所月報第596号）

医療

ヘリによる救急医療圏域

管内でドクターヘリが就航可能な空港やヘリポート、グラウンド（道および市町村調べ）等は98カ所あるが、30分以内にこれら地点まで到達できる地域は非可住地を除く面積では約97%、人口ではおよそ99%をカバーしている。

なお、3次医療施設がある釧路市を起点として、ドクターヘリの70km圏（目標として初期治療を15分以内に行える目安）をみると、範囲内の人口は約25万人で管内の70%をカバーしているが、主として根室方面は範囲外となる。



注) 移動時間は「NITAS」の「平均旅行時間」による。

地域や高速、国道、道道などの種別により異なるが、道内国道は概ね平均時速42km程度。

なお、近接する地点は1箇所のみ表示の場合もある。

総合交通分析システム（NITAS）により未来総研作成

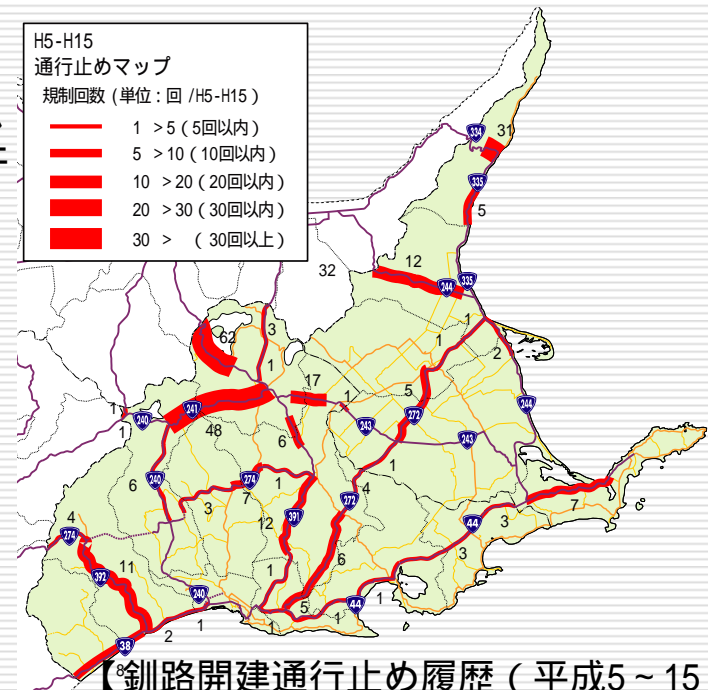
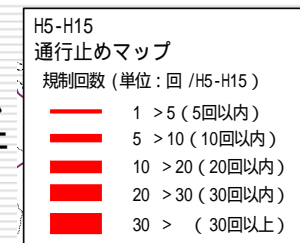
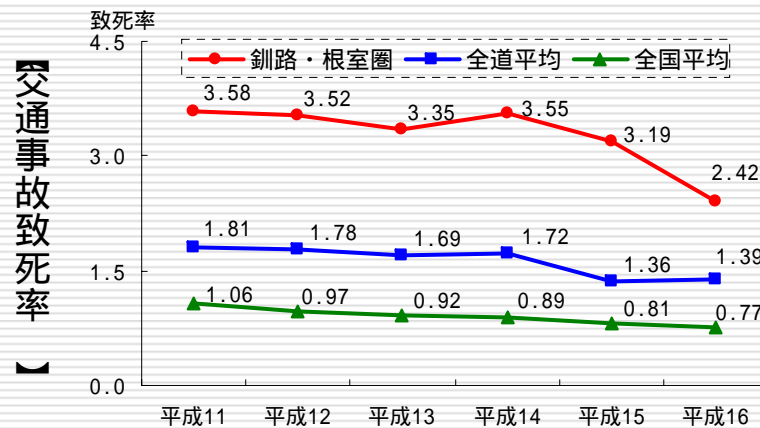
防災

事故の減少

釧路・根室地域の交通事故致死率は2.42で、近年低下傾向にあるが、全国平均の0.77、全道平均の1.39を上回っている。また、交通事故死者の事故類型割合をみると、「正面衝突」が最も多く28%となっている。

このため、「ランブルストリップス」の整備などが進められており、平成15年に設置された2カ所では設置前に4件あった正面衝突が0件になるなど効果が検証されている。

また、近年ではエゾシカによる被害も増加しており、平成16年には自動車関連の事故が19件、列車支障件数が666件となっている。



交通事故致死率) 交通事故100件あたりの致死率

ランブルストリップス) 路面にカマボコ状の凹型を連続して配置することにより、通過車両に対し不快な振動や音を発生させ、ドライバーに車線を逸脱したことを警告する交通事故対策

釧路開発建設部資料

防災

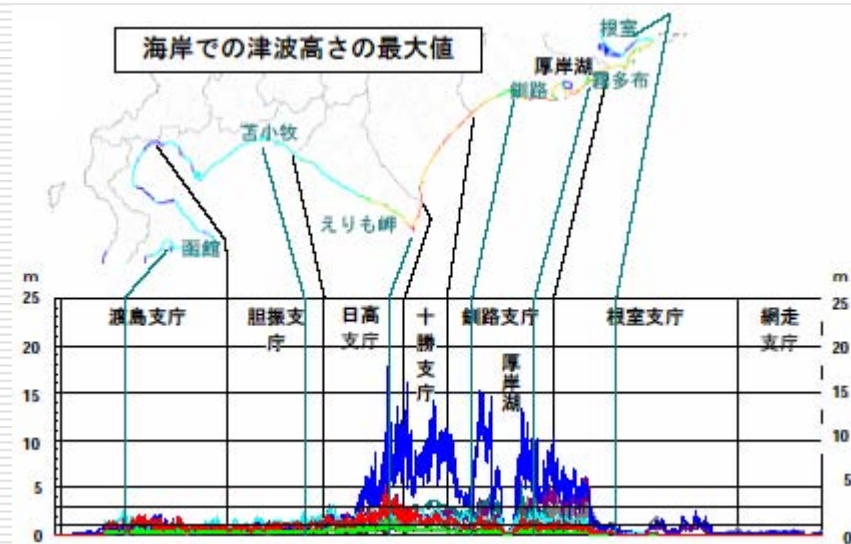
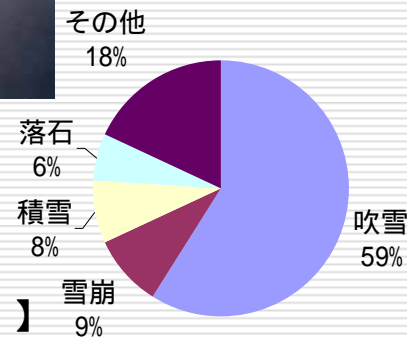
地震・豪雪の状況

釧路・根室地域は、地震活動が活発な地域で、これまでも地震による被害に見舞われているほか、中央防災会議が公表した「五百年間隔で発生しうる地震」による津波の推計値では、津波高さの最大値が釧路管内で15mになるなど、甚大な被害が予想されている。

また、雪に関する災害などにより通行止めが多発している地域でもあり、特に吹雪は通行止めの原因の過半数を占めており、昨冬季も多雪等による被害を被っている。



【要因別通行止め履歴
(平成5～15年)】



釧路開発建設部資料及び中央防災会議資料等により作成

防災

災害などへの対応状況

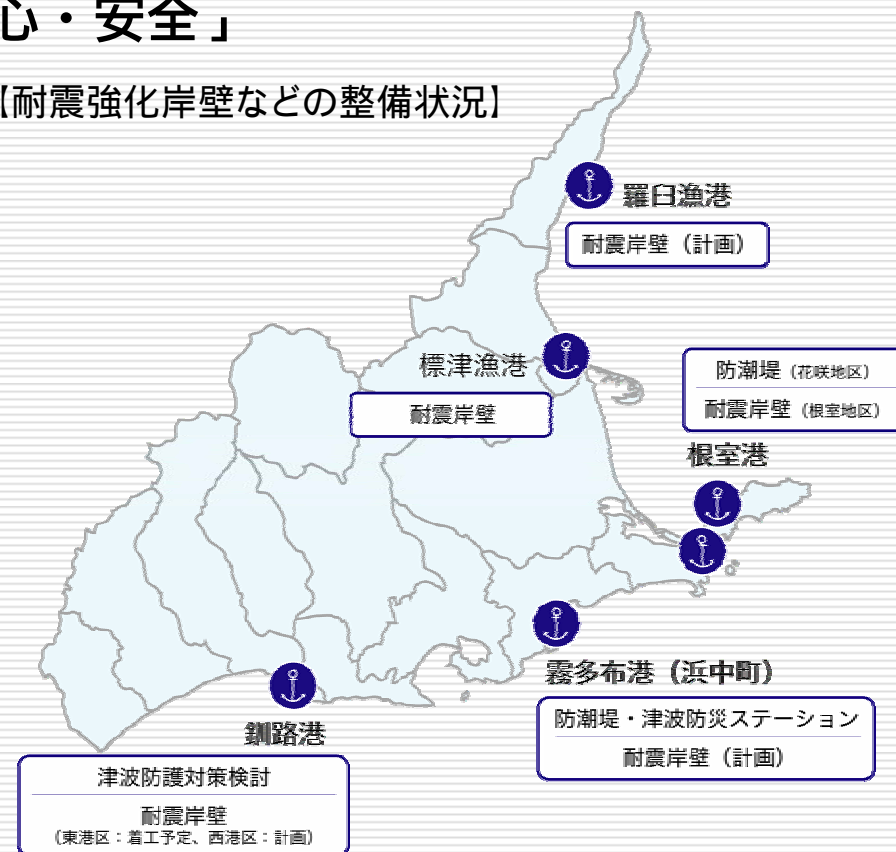
耐震強化岸壁がもたらす「安心・安全」

釧路・根室地域で、耐震化岸壁の整備が実施済みなのは、根室港(根室港区)で、対象背後圏人口約32千人のうちおよそ2千人と想定されている被災人口に寄与している。

このほか、計画では、釧路港(背後圏人口約200千人)、霧多布港(同約2.4千人)、羅臼漁港(同約2.2千人)で予定されている。

これらは防災、減災のほか、航路維持や道路被災時の陸の孤島化対策にも寄与している。

【耐震強化岸壁などの整備状況】



防災

災害などへの対応状況

ハザードマップ整備状況

釧路・根室地域において、ハザードマップを整備している市町村は、6市町で、「津波」が3市町、「火山」が2市町(重複を含む)、「洪水」が3市町(同)となっている。

今後もこれら整備が急務だが、市町村単位でなくより広域的な対応が必要である。

【管内市町村のハザードマップ作成状況】

市町村名		津波	火山	洪水
釧路地方	弟子屈町			
	標茶町			
	鶴居村			
	浜中町			
	厚岸町			
	釧路町			
	釧路市			
根室地方	白糠町			
	羅臼町			
	標津町			
	中標津町			
	別海町			
根室市				



釧路支庁及び根室支庁資料等により作成